

裁判で必ず勝利し、公正で競争性のある入札・契約制度の実現を 談合裁判の判決を前に原告団が報告集会開催

「上越市ガス水道局所管本支管工事における談合によって上越市は損害をこうむった。ガス水道管理者は談合をした業者に損害金を請求をせよ」という裁判は9回の口頭弁論を終え、3月6日に判決を迎えます。21日、弁護団の加賀谷達郎弁護士、齋藤裕弁護士を招いて、市民プラザで報告集会を開催しました。約40人の市民が参加しました。

開会にあたり私は原告団長として、「多くの市民のみなさんに支えられてここまで闘ってきた。心から感謝申し上げます。上越市ガス水道局発注の工事における談合事件は業者からの勇氣ある告発によって明るみに出た。裁判では証拠も揃っており、全国的にも注目されている。絶対に負けるわけにはいかない。最後までのご支援をお願いしたい」と挨拶しました。

報告集会では、加賀谷、齋藤両弁護士などがこれまでの経過をわかりやすく説明しました。争点のひとつは、談合に参加した業者（告発した2業者を除く）に対して約1億3000万円の損害金及び遅延損害金を上越市に支払うよう請求できるかどうかです。弁護団では業者間の録音データは意図的に作られたもので



た2業者を除く）に対して約1億3000万円の損害金及び遅延損害金を上越市に支払うよう請求できるかどうかです。弁護団では業者間の録音データは意図的に作られたもので

は高いこと、指名競争入札時は落札率が一般的に高いことなどをあげて、請求できることを明らかにしました。また、一部に告発した業者に対しても損害金を請求すべきだとしていることについて言及、「そんなことを認めたら、談合を告発するものがないくなる。全国的にも大きな（マイナスの）影響を与えることになる」とのべました。

原告団では、3月の判決を前に原告団会議を開き、必ず勝利を勝ち取るために頑張ることを確認しました。

米山新知事が上越市で講演

新潟日報政経懇話会が19日にあり、参加してきました。講師は米山隆一新知事です。



講演は新潟県の医療問題が中心でした。医師不足が全国的に見てどうなっているか、県内ではどうなっているかなどのデータを示しつつ、勤務条件の改善などによって県内で学ぶ医学生に県内に残ってもらうことが医師不足を解決する基本となるとのべました。また県立病院や基幹病院の統一カドを作り、県民の健康を守るとともに、医療費の軽減などに努めたいとしました。講演の後半では県発注の公共事業についても言及、「何かをしなければ何も起こらないと言われる人もいるが、プロジェクトをするからにはまず需要のあるものからやっていくことが大



【ツバキ】今回も「ツバキ」です。吉川区道之下のある家でつぼみを発見、写真に撮らせてもらいました。うぼみの色はピンク色です。まだまだ寒いのに、咲かせようというのでしょうか。ちょっとかわいそう。

事」だとのべました。今回の講演には米山新知事が何を語るのかと注目し、上越地域の各方面から100人近い人たちが参加しました。

竹直生産組合の日本農林漁業振興会長賞受賞で祝賀会

吉川区の農事組合法人竹直生産組合が平成28年度農林水産祭 日本農林漁業振興会長賞（農産部門）を受賞したことから、その祝賀会が20日に開催されました。同組合のメンバーをはじめ、行政の関係者、近隣の仲間など約50人が受賞を祝いました。

竹直生産組合が受賞したのは省力化と低コスト化を進めるなかで高収量大豆生産をしていることと「越後竹直味噌」に代表される6次産業化の取り組みが評価されたことによります。平成27年のデータでは、同組合の大豆生産量は10アール当たり289kg（同年の全国平均は171kg）と飛びぬけて高く、上位等級比率も67%（全国平均57.7%）となつています。



同組合は設立から20年。集落農地の維持・発展で先駆的な役割を果たしてきた。祝う会では、これまでの歩みを振り返るとともに、30年問題などをどう乗り越えていくかが語られました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1792 2017.1.29
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら


春よ来い

第四四〇回 母が語る昔話(3)

このところ、母は昔の話をしたがりません。昨春秋に腰を痛めてから、母はコタツのそばの電動イスに座るようになりましたが、昔のことを思い出すとすぐに身を乗り出して私に語りかけてきます。

先日は腰を痛めていたときにお世話になった四人のヘルパーさんのことについて教えてくれました。母は「〇〇さんは大きな池のそばに住んでいる」「□□さんは高田と直江津の間あたりだと」と一人ひとりのヘルパーさんを紹介し、最後に地元出身のTさんの話になりました。

母によると、Tさんが「おれ、ムコ(屋号)の嫁!」そう言って話してくれたというのです。同じ集落に住んでいたことがあるので、ともうれしかつたようです。「ムコ」という言葉を聞いて、母は、尾神に住んでいた庵主様についてしゃべったことをすぐ思い出し、話を繋ぎました。

「『庵主様のそばにおまんちがあつた』と言ったら、庵主様のこと知らないと言ったすけ、まだ歳若いんだわな、あの人は」そう言った後、今度は私の子ども時代についても思い出し、

「庵主様はお経読みに来るとき、衣の下に、普通の着物を着て、袂(たもと)の中に飴玉かなんかのヒリヨウを入れて来なつたもんだ。庵主様がおらちに来なると言うとき、ノリカズは遊びに行かんかったな。ヒリヨウをもらうまでは……」

と、笑いながら言いました。母の話はどんどん続きます。どこでどうなっているのか、庵主様から分場(分校)のことについて話が変わりました。

私が旧源小学校水源分校に通っていたのは一九五〇年代の後半です。一年生と二年生のときの担任は大潟区内雁子出身の山田利という女性の先生でした。

「ノリカズは、女の先生に『ねぶてすけ、いつとき眠らせてくれ』と言っていた

がど。その後はどうなつたもんやら……」

自分で確かめたのかどうかわからないことまで言うとは、作り話かなと母の記憶を疑つたのですが、その次に母の口から出た話を聞いて、これは間違いなさそうだと思います。

それは私と同じく、母親が大島区竹平出身のジュンジ君との相撲について語つたこととです。ジュンジ君の家の屋号は「クライム」という名前でした。「クライムの子と相撲取ると、ノリカズは体がでかかつたけど負けたがど。あの子は細い足だつたがに負けたがど」

と、言つたのです。私の記憶では、ジュンジ君とは分場などで何度も相撲を取りました。でも彼の方が運動神経がよくて、私はいつも負けられていたのです。たぶん、ジュンジ君の家に母親と一緒に出かけたときも私たちは相撲をしたのだと思います。そのときのことを母は憶えていたのです。

この日は私がこれまで一度も聞いたことのない話がさらに続きました。子どもの頃の冬のことです。

「ノリカズとツトムが屋根の上で遊んでいたら、雪と一緒に滑り落ちて……。うまく落つたすけ、ノリカズは『どうです』と言つて、両手をあげて自慢してた。うまく落つたすけいかつたでも、そうでなければたいへんになつたがど」

と言つて、また、母は笑いました。びっくりしたのは、ネコの話でした。たぶん、産まれたばかりの小さなネコのことだったのでしよう。

「赤いネコ、誰かがタネ(家のそばの小さな池)にぎぶんと入れたら、ノリカズは、飛び上がつてせつながつた」

自分の子ども時代記憶はあまり残っていません。それだけに、母が聴かせてくれる話は興味深く、新鮮です。いまのうちにちょっと聴いておかなければと思います。

参加者全員が新年の抱負…上越地区労連旗開き

農協労組、さいがた医療センター労組、年金者組合などが加盟している上越地区労働組合総連合の旗開きがこのほど市内で行われました。私も来賓として2年ぶりに参加してきました。

この旗開きの特徴は、参加した労働組合などの団体がすべて挨拶し、活動を紹介するところにあります。今回の旗びらきでは、それだけでなく参加者全員がひと言ずつ新年の抱負などをのべました。いいものですね。

活動報告の中では、昨年参議院選や知事選でのたたかいについてうれしそうに話すところが多かったですね。なかには組合のことだけでなく、「高田と直江津間は自転車で移動するようにしている」など自身の健康のことなどを語る人もいました。ちなみに私は鳥の「みさ



ご」(英語で「オスプレイ」)について説明してほしいと言われ、その生態と特徴を紹介しました。もちろん、関山演習場で参加が調整中の航空機・オスプレイについても語りました。(写真は報告する年金者組合)

元気な報告と抱負を聞き、美味しい料理も食べられて良かったです。

今月の議員勉強会では、国立国会図書館の塚田洋さんが「一般質問・政策形成に使える議会図書室」という演題で講演してくださいました。

上越市では議会図書室をこのような形で利用する人はまずいないのですが、今回の話を聞き、インターネットの活用でも、図書館ネットワークを活用した場合でもいろんな方法があるんだと勉強になりました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月18日(水)	1月25日(水)
上越南消防署	0.030	0.043
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.050	0.060
東頸消防署	0.043	0.050
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.047	0.053

